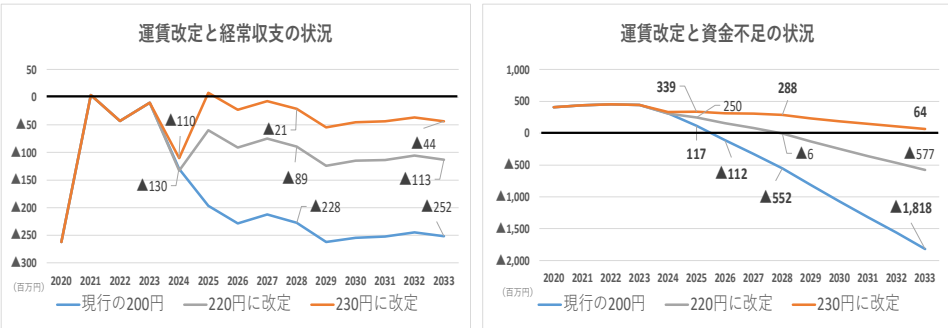


路面電車の運賃改定【軌道運送事業】

(1) 収支改善の取組

項 目		増収効果
乗客誘致	24時間乗車券の導入	約 1 百万円/年
附帯事業の強化	ラッピング広告料の引き上げ	約 3 百万円/年
	新型低床車両への積極的な広告誘致	約 3 百万円/年
	パートナー契約推進	約 5 百万円/年
サービスの見直し	SAPICAポイントの引下げ	約41百万円/年
	どサンこバス（土日祝1日乗車券）価格改定	約 1 百万円/年

(2) 運賃改定シミュレーション



- ・電気料金のほか、労務単価の上昇や資材価格の高騰による経費の増加が経営を圧迫。
- ・収支改善の努力はしているものの、現行の200円の運賃のままでは、令和8年度(2026年度)以降資金不足に陥る見込み。
- ・グラフは、令和6年(2024年)12月に運賃を改定した場合のシミュレーションで、改定による増収額は、220円で年140百万円、230円で年200百万円。



★軌道運送事業を維持するためには、運賃を230円に改定する必要があります。

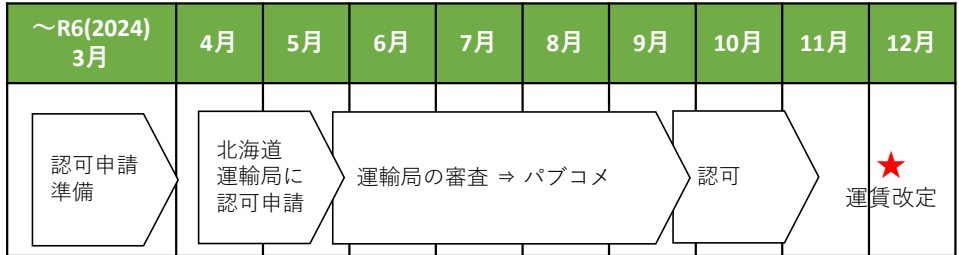
運賃を230円とした場合の長期収支

(単位:百万円)

		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
		2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
経常収支	乗車料収入	1,428	1,569	1,574	1,583	1,584	1,590	1,595	1,600	1,596	1,596
	その他収入	498	502	507	497	500	501	491	491	494	494
	計	1,926	2,071	2,081	2,080	2,084	2,091	2,086	2,091	2,090	2,090
	経費・人件費	1,284	1,263	1,274	1,276	1,254	1,244	1,241	1,253	1,256	1,265
	施設使用料	752	800	830	811	851	902	891	882	871	869
支出	うち長期借入償還分	0	51	51	59	59	59	59	59	59	59
	計	2,036	2,063	2,104	2,087	2,105	2,146	2,132	2,135	2,127	2,134
	差引	▲ 110	8	▲ 23	▲ 7	▲ 21	▲ 55	▲ 46	▲ 44	▲ 37	▲ 44
	累積欠損金	▲ 215	▲ 209	▲ 232	▲ 239	▲ 260	▲ 315	▲ 360	▲ 404	▲ 441	▲ 484
	年度末資金過不足額 (財団全体資金含む)	333	339	316	309	288	233	188	144	107	64

★運賃改定により当面の資金不足は回避できますが、経常赤字は継続するため、引き続き収支改善の努力を行っていきます。

(3) 運賃改定スケジュール



- ・令和6年(2024年)12月での運賃改定を目指して、札幌市交通事業振興公社が北海道運輸局への申請を行う（北海道運輸局の認可や運賃改定時期は現時点での予定）。

(4) 他都市における路面電車運送事業者の運賃改定状況（2023.9.6時点）

事業者		状況	実施時期
公営事業者	①熊本市	大人は170円から180円に、小人は変更なし	2023.6.1
	②東急電鉄	ICカード147円・現金150円から一律160円に値上げ	2023.3.18
民営事業者	③豊橋(とよはし)鉄道	東田本線(市内線)の一律180円の運賃を200円に値上げ	2024.3.16
	④福井鉄道	均一区間の普通運賃を160円から190円に値上げ	2024.3 (予定)
	⑤京阪(けいはん)電気鉄道	鉄道駅バリアフリー料金として10円値上げ	2023.4.1
	⑥京福(けいふく)電気鉄道	嵐山線の運賃を大人は全線均一220円から250円に、小人は110円から120円に値上げ	2023.4.1
	⑦阪堺(はんかい)電気鉄道	大阪市内と堺市内の普通運賃それぞれ210円を全線230円に値上げ	2020.10.1
	⑧岡山電気軌道	路面電車の100円区間の運賃を、120円に値上げ	2022.10.1
	⑨広島電鉄	白島線を130円から160円に、白島線を除いた7路線を190円から220円に値上げ	2022.11.1
	⑩伊予(いよ)鉄道	180円の初乗り運賃を200円に値上げ	2023.10.1
	⑪長崎電気軌道	大人運賃130円を140円に値上げ	2021.10.1

- ・令和2年(2020年)4月以降、11業者が運賃改定を実施又は運賃改定検討を公表している。